

江津のレトロな 街並みを絵に

県西部の高校 美術部員121人 あすまで講習会

レトロな街並みを眺め、筆を走らせる高校生たち



レトロな街並みが残る江津市の江津本町で28日、県西部の高校美術部員を対象とした絵画講習会が始まり、11校の生徒121人が、赤瓦や白壁の家屋など江戸や明治期の面影を残す風景と向き合い、盛んに筆を走らせた。30日まで、2泊3日の日程で制作に取り組む。

県高校文化連盟美術・工芸専門部が毎年開く講習会で、同町での開催は3年ぶり2回目。

生徒らは町内を歩き、家屋や水路、神社など題材を決めると、三脚にキャンバスを立てかけ、油彩や水彩でスケッチ。風景をしっかりと画面に写し取ろうと、真剣なまなざしで絵筆を握った。

田中沙季さん(17)は「赤瓦の

風景をしっかりと画面に写し取ろうと、真剣なまなざしで絵筆を握った。

田中沙季さん(17)は「赤瓦の